学校番号	２１２

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　現代の国語」　（第一学習社）						
副教材等	「新訂総合国語便覧　クラウド版」（第一学習社） 「改訂版　大学入試の核心　漢字と語彙 3750」（尚文出版） 「現代文グレートラーニング 40　レベル１」（尚文出版） 「高校国語への入門演習」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

高校の「国語」では「読む」「書く」「聞く」「話す」といった言語活動を中心に、様々な文章に触れることで皆さんの感受性を豊かにし、思考力・判断力を高め、社会で役立つ言葉の運用能力を育成していくことを目標とします。国語力は一朝一夕には身に付きません。普段から文章を読む習慣をつけ、語彙や文章に親しむことで国語力を磨いていきましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

⑴　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

⑵　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

⑶　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、物の見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	論の構造と展開を理解する。 ［教材］ ・「生きものとして生きる」 ・「本当の自分」幻想	a：漢字、語句を理解して、的確に運用する。 b［ 読 ］：文章の構成、展開を理解して、主題を正しく把握する。 c：文章の要約をして、自らの意見を形成する。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 振り返りシート
	場面に応じた言葉遣いを理解し、伝わりやすい表現方法を身に付ける。 ［教材］ 話し方の工夫／待遇表現／論理的な表現	a：言葉の特徴を理解し、相手に応じて、使い分けをする。 b［ 話 ］：適切な表現を用いて、自分の意図を相手に的確に伝える。 c：進んで口頭で実践することを通して、言葉の適切な運用を理解する。	ワークシート 定期考査	ワークシート	振り返りシート
	論の対比関係を把握する。 ［教材］ ・水の東西 ・ものとことば ・砂に埋もれたル・コルビュジエ	a：世界各所の水の多様な姿を知り、関心を深める。 b［ 読 ］：文章内の対比関係を把握して、日本の独自性に考えをめぐらす。 c：本文の事例以外で、日本と他国の違いを探すことで、考えを深める。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 振り返りシート
	表記・表現の基本ルールを理解する ［教材］ 書き方の基礎レッスン	a：文章表記のルールを知り、正しい文章を書くことができるようになる。 b[書]：自分の考えを正確に伝える文章にするために、表現の仕方を工夫する。 c：ほかの生徒の文章表現を参考にして、人文の文章をよりよいものにしようとする。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート
	具体例と抽象的な説明の関係を捉える ［教材］ ・「間」の感覚 ・日本語は世界をこのように捉える	a：文章における具体例の位置づけを理解して適切に使うことができる。 b[読]：具体例の内容の適切な理解を通して、抽象的な主題を的確に理解できるようになる。 c：自分の意見が正しく伝わるように、具体例を適切に用いようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 振り返りシート
	必要な情報を探し、引用の適切な活用を理解する ［教材］ 情報の探索と選択／情報源の明示／羅生門	a：自分の考えを述べるための必要な文献や資料の探し方や引用の仕方を的確に習得する。 b[書]：文学作品の研究レポートを作成するうえで、自らの考えを述べる際に資料や引用を工夫して使おうとする。 c：資料の収集を通じて、様々な考えを知り、自らの考えを深める。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 振り返りシート

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
2学期	筆者の主張を的確に理解する ［教材］ ・無彩の色 ・「文化」としての科学	a：文章中の多くの対比関係を把握するだけでなく、接続詞の役割を理解できるようになる。 b[読　]：筆者の主張を的確にとらえるだけでなく、それについての解釈、自分の意見をもつことができるようになる。 c：本文の読解を通じて、現代社会の問題点に積極的に目を向け、考えをめぐらすようになる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 振り返りシート
	相手に情報を的確に伝える文章の書き方を習得する ［教材］ 身近な製品の取扱説明書を作成する 実用的な手紙文の書き方	a：実用的な手紙文の書き方と形式について理解することができる。 b[書　]：正しい形式だけではなく相手と目的に配慮した文面を書くことができるようになる。 c：外部の人に送る手紙として、失礼のない表現にするために工夫をしている。	ワークシート 定期考査	実践活動(手紙文の作成)	ワークシート 振り返りシート
	結論に至る論の進め方をつかむ。 ［教材］ ・現代の「世論調査」 ・フェアな競争	a：説得力のある結論に至るための文章構成を理解している。 b[読]：文章構成だけでなく、本文中で話題となっている様々な事柄について関心を深めることができる。 c：各国の諸問題について積極的に知識を深め、自らの意見を形成しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 振り返りシート
	自分の意見を伝えたり、他者の意見を聞き取ったりする力をつける ［教材］ スピーチで自分を伝える／相手に伝わる案内をする／合意形成のための話し合いを行う／夢十夜／鏡	a：口頭で自分の意見が伝わるスピーチの仕方を理解する。 b[話]：自分の考えが効果的に伝わるよう、構成や展開、話し方等の表現の仕方を工夫することができる。 c：文学作品の紹介をスピーチを通じて行うことで、人前で話すことについて内容、所作ともにより良いものにしようとしている。	ワークシート	実践活動	ワークシート 振り返りシート
	意見を述べる際の根拠を把握する。 ［教材］ ・「私作り」とプライバシー ・AI は哲学できるか	a：意見の根拠として適切な事実を挙げることを理解している。 b[読　]：事実と意見の明確な区分ができるようになり、その関係についての意識を深めることができる。 c：事実から導き出された意見を理解しようとするとともに、この手法を自分の書く文章に活かそうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 振り返りシート

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
3学期	具体的事例から一般論への展開を理解する ［教材］ ・不均等な時間 ・ロビンソン的人間と自然 ・デザインの本意 ・「動機の語彙論」という視点	a：今まで習ってきた文章の論理展開を再確認する。 b[読]：「近代」や「時間」といった概念を的確にとらえ、内容の解釈を深めることができる。 c：積極的に難解な哲学的な文章への理解を深めようとしているだけでなく、他の哲学的な文章への関心を示そうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 振り返りシート
	情報を的確に紹介する方法を理解する ［教材］ 地域の魅力を紹介する／理想の修学旅行をプレゼンする／城崎にて	a：情報を的確に紹介する方法を理解している。 b[書]：必要な情報を収集、整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用することができる。 c：地域の紹介文を書くことで、地域を舞台にした文学作品にも着目し、知識を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 振り返りシート
	意見文の書き方を理解し、実践する。 ［教材］ 自校の生徒の生活実態を調査する 社会に対する意見文を書く	a：意見文とはどのようなものか、そしてその書き方について理解している。 b[書]：自分の意見が効果的に伝わるように、構成や展開、文体などの表現の仕方を工夫することができる。 c：他の人の意見文を読んで、その観点や表現を踏まえながら、自らの文章をよりよいものにしようとしている。	ワークシート	実践活動(意見文作成)	ワークシート 振り返りシート

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間